

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	深谷市 (112186)
地域名 (地域内農業集落名)	武蔵野 (上郷第一、上郷第二、上郷第三、上郷第四、上郷第五、中郷流、中郷上宿、中郷中宿、 中郷新田、中郷東林、中郷下宿、下郷高木、下郷嵯峨、下郷中央、下郷東部)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	265 ha
① 農業振興地域のうち農用地域内の農地面積	265 ha
② 田の面積	95 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	170 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	22 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・主要作物: 水稻、麦、施設野菜(きゅうり、トマト)、露地野菜(ねぎ、ブロッコリー、大根)、花卉、植木、畜産
- ・農業者の高齢化、農業者不足
- ・耕作放棄地の増加
- ・空きハウスの増加
- ・鳥獣被害(シカ、イノシシ等)

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・主要作物: 同上(変更なし)
- ・若手や法人等、大規模農家等担い手への農地の集積・集約を進めつつ、担い手育成塾等を活用し、地域内外からも新規就農者等の担い手を呼び込む
- ・兼業農家、小規模農家等の農業支援サービスの利用促進

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業を活用し、担い手への集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で、多様な経営体を含めた農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	11	%	将来の目標とする集積率
			56 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手による農用地の集積を進めるが、担い手同士の調整に基づき農作業の効率化が図れる範囲で段階的に集約していく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組 農地中間管理事業を活用し、担い手への農用地の集積・集約化を基本としつつ、地域の担い手の経営意向を勘案し、段階的に進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法 担い手への農用地の集積・集約化を促進するために、農地中間管理機構を活用し、担い手の経営意向等を勘案し、段階的に進める。農地区画拡大、集積等を促進するため、機構関連農地整備事業を検討する。
(3) 基盤整備事業への取組 農用地の大区画化や農用地の集約、水利施設の整備のため、基盤整備事業を検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組 行政やJA等と連携し、地域内外から新規参入者等を幅広く呼び込み、栽培技術指導や農業用機械のレンタルなどの支援や、就農相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。小規模農家・兼業農家の育成支援を図る。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 農作業委託や民間の農機レンタルの活用促進を図り、担い手の負担を軽減するとともに、遊休農地の拡大防止に努める。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

✓	①鳥獣被害防止対策		②有機・減農薬・減肥料		③スマート農業		④畑地化・輸出等		⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等	✓	⑦保全・管理等		⑧農業用施設	✓	⑨耕畜連携等		⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①行政等関係機関と連携し、イノシシやシカ、アライグマの駆除を実施し、農畜産物被害を抑制する。
⑦地域保全団体により、水路等の保全管理について、地域ぐるみの取組を継続する。
⑨地域内の耕種農家及び畜産農家の連携を強化し、地域内で生産された飼料の利用促進、家畜由来の堆肥の農地への還元により地域内循環を促進する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

[illegible]

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4: 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	ふかや農業協同組合	農薬散布	水稻
2	株式会社ふかやアグリサービス	耕耘、草刈り、畔塗り、耕起、整地、耕起、農薬散布	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。